

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	視覚的左室流入血流速波形推定（Visual TMF）による心不全診断の有用性に関する研究			
② 実施予定期間	実施許可日 から 2029 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	対象期間中に当院で心エコー図検査を受けられた患者さん			
④ 対象期間	2024 年 4 月 1 日 から 2025 年 3 月 31 日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	全診療科			
⑦ 研究責任者	氏名	小室あゆみ	所属	第二内科
⑧ 使用する情報等	識別コード、性別、生年月、身長、体重、合併症、既往歴、心エコー図レポート記載内容、心エコー図			
⑨ 研究の概要	<p>日本では高齢化の進行に伴い心不全患者が急増しており、「心不全パンデミック」と呼ばれる状況にあります。近年では、左室拡張機能障害を主体とした左室駆出率の保たれた心不全（Heart failure with preserved ejection fraction, HFpEF）（心不全の中でも、心臓が血液を押し出す力は保たれていますが、広がる力（血液を受け入れる力）が弱くなるタイプの心不全）の増加が顕著となっています。心不全の診断において心エコー図検査は重要な画像検査の一つですが、HFpEFは左室駆出率が保たれているため、従来の心不全と異なり診断が容易ではありません。特に左室拡張機能の評価には、ドブラ法(超音波を使って、血液の流れる向きや血流の速さを調べる方法)による左室流入血流速波形（transmitral flow、TMF）の解析が有用ですが、これらの計測には専門的な知識と技術が必要であり、習得には長期間の訓練が必要となります。左室拡張能の指標の一つである左室流入血流速波形を視覚的に評価し、非熟練者でも簡便に心不全の診断が可能かどうか検討することを目的としています。</p> <p>本研究では、研究対象期間中に心エコー図検査を施行した患者のうち、日常診療から得られた情報を特定の個人が識別できないよう加工した上で収集します。対象症例は、HFpEF群および非心不全群に分類し、それぞれの群からランダムに20例ずつ抽出した計40例の心エコー画像を使用します。これらの画像について、非熟練者である医学部生・卒後3年までの医師が判定を行います。超音波専門医も同様に判定を行い、非熟練者の診断精</p>			

	度について評価を行います。			
⑩ 実施許可	実施許可日	2025 年 11 月 12 日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	奨学寄附金			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 第二内科 担当者：小室あゆみ			
	電話	0836-22-2248	FAX	0836-22-2246